

①-1 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-47	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コⅢ・338	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅲ		

1. 編修の基本方針

本教科書の編修にあたっては、学習者が**日常的・社会的な話題**を通じて**人間性や社会性を育む**ことができ、かつ「**コミュニケーション英語Ⅱ**」で培った**英語の運用能力を更に伸ばし**、**英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を伸ばせる内容・構成となるよう留意した。

1. 題材は学習者に親しみやすく、かつ、学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを選んだ。
2. 言語活動においては「コミュニケーション英語Ⅱ」とのスムーズな連携を考慮、また、確かな定着を目的として反復活動を重視した。
3. 社会生活において英語を活用する上で必要な「情報を的確に理解し伝える力」の養成につながる題材・活動を、随所に盛り込んだ。
4. 学習した内容について、学習者自身の意見を引き出したり、クラスメイトの意見を聞いたりする活動を設けて、学習者が積極的に授業に参加できるようにした。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を身に付け、主体的に**社会の形成に参画**し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ**国際社会の平和と発展に寄与する**態度を養うことができる教科書となるように編修した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
LESSON 1～25, FURTHER READING	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな内容の英文を読み、活動を行うことによって、幅広い知識と教養を身に付ける。(第1号) ・駅弁の歴史を学習することで、日本の文化や郷土を愛する心を養う。(第5号) ・会話を続けるコツを学習することで、日常生活におけるコミュニケーション能力の向上をはかる。(第2号) ・植物のさまざまな種の散布方法を読み、生物の基本的知識を習得し、自然を尊ぶ態度を養う。(第4号) 	全般 L1 (8～9頁) L2 (10～11頁) L6 (18～19頁)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ものを大事にする精神から生まれた「金継ぎ」という日本の伝統技術を知り，我が国の文化を尊重する態度を養う。（第5号） ・ノーベル賞を設立したノーベルの意図を知り，社会の発展に寄与する方法に思いを巡らせる。（第3号） ・本番で実力を発揮する方法を読み，個人の能力を伸ばし，自主及び自律の精神を養い，準備努力を重んずる態度を養う。（第2号） ・貧しい少女が，個人の興味を伸ばして勤労を重んじた結果，科学の発展に大きく貢献した事実を読み，勤労を重んずる態度を養う。（第2号） ・廃棄ゴミからつくった楽器で演奏するパラグアイのオーケストラの成功記事を読み，地域社会への敬愛と協力を重んじ，公共の精神に基づいて，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う。（第3号） ・アフリカの子どもたちの直面する問題と具体例な解決方法を読み，公共の精神に基づいて，主体的に社会の形成に参画し，その発展に寄与する態度を養う。（第3号） ・世界には消滅の危機にある言語が数多くあることを知り，各地域の伝統と文化を尊重する態度を養う。（第5号） ・奴隷解放や女性の地位向上のために活動したハリエット・タブマンの生涯を知り，正義と責任，人間の平等について考え，主体的に社会の形成に参画する態度を養う。（第3号） ・蜂群崩壊症候群が生態系に与える影響を知り，自然を大切にし，環境の保全に寄与する態度を養う。（第4号） ・筆者や登場人物の心情，当時の社会状況などに思いをはせながら回想録を読み，豊かな情操を養う。（第1号） ・平等意識や公平の観念を養うため，男女，人種などにおいて，偏りが生じないように配慮した。（第3号） 	<p>L8 (22～23頁)</p> <p>L9 (26～27頁)</p> <p>L11 (30～31頁)</p> <p>L12 (32～33頁)</p> <p>L13 (34～35頁)</p> <p>L17 (44～48頁)</p> <p>L20 (68～72頁)</p> <p>L22 (86～90頁)</p> <p>L23 (92～96頁)</p> <p>FURTHER READING (112～118頁)</p> <p>写真・イラスト全般</p>
後見返し	英語を学習する上で必要な「句読法」の知識を身に着ける。（第1号）	後見返し

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 題材の形式は、通常の説明文のほかに、**社会生活において目にする様々なタイプの英文**を取り揃えた:

**会話文(L4), ウェブサイト(L7), 博物館案内(L10), 新聞記事(L13), 旅行案内(L16),
プレゼンテーション・図表(L18), 回想録(FR)**など

2. SECTION I ~SECTION IIIの各課に「自己表現活動 (It's Your Turn!)」, さらに,
SECTION IIIの差込頁として「要約文の作成 (Writing a Summary)」と「ディスカッション
(Having a Discussion)」を設け、**実践的コミュニケーション能力**を高められるよう配慮した。
自己表現活動 (It's Your Turn!) には、「音読」「発信」「リスニング」の活動も盛り込んだ。

↓ SECTION II の It's Your Turn!

It's Your Turn!

1. Read aloud the following passage. 🗣️

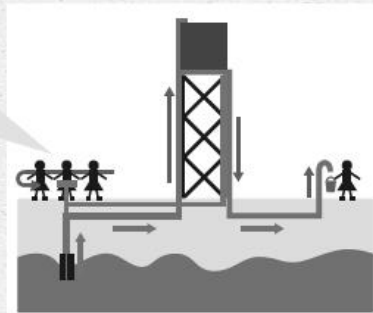
! 聞き手に理解してもらえるように、発音、リズム、速度、声の大きさに気をつけよう。

In some African countries, a lot of people have difficulty in getting water. However, if they use the merry-go-round in the playground, they can get water easily. The only thing the children have to do is to spin the merry-go-round. They can enjoy playing on the merry-go-round, and at the same time they are pumping up underground water. Finally, they can drink clean water.

*merry-go-round [méri-gou-ràund] メリーゴーランド playground [pléigràund] 遊び場



▲ the merry-go-round and children



▲ how to get clean water

2. Listen and answer the questions. 🗣️ 🗣️

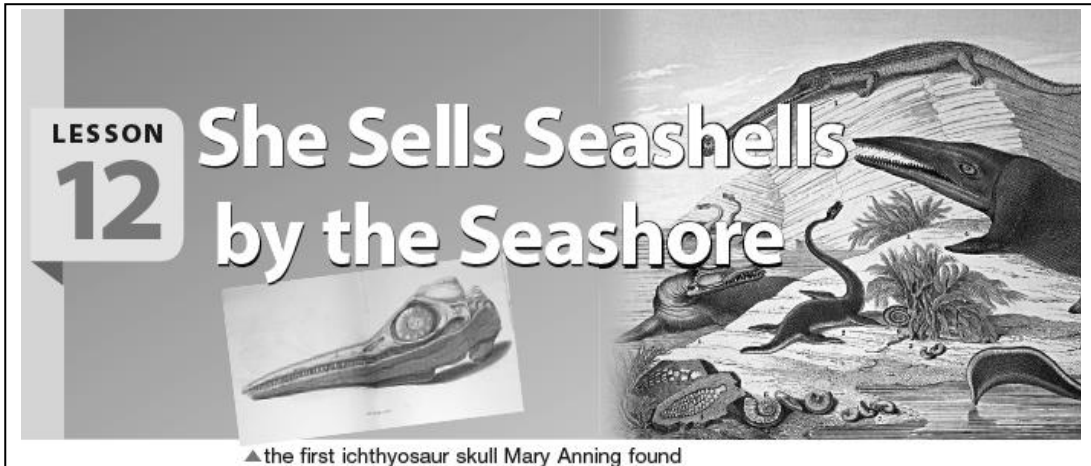
! 質問への適切な答えになっているか / 適切な文法・表現が使えているか、気をつけよう。

- ① _____
② _____

3. 反復学習による定着：

コミュニケーション英語 I・II・IIIの語いを、SECTION IIの差込頁でジャンル別に復習。Word Map を用いて視覚的に提示した上で、コロケーション・重要表現を併記して、語い力の強化を図った。

4. 記述は出来るだけ英語とし、英語による授業が進めやすくなるよう工夫した。



↑ 写真キャプションは、原則すべて英語で記載

↓ 問題文は、原則すべて英語で記載

Read It Through

A In English, two or three words are joined together with a hyphen (-) to make an adjective (形容詞), for example, a five-day holiday and a ten-thousand-yen bill. Can you find some more examples in the text?

B Fill in the blanks.

▼ When

1811

1812

▼ What happened?

• Mary's brother ① _____.

• Mary ② _____.

• Mary ③ _____.

It was the first complete fossil of an ichthyosaur.

C Answer the following questions.

1. Who was Mary Anning?
2. Where did Mary hunt for fossils?
3. Why was it astonishing that Mary discovered the fossil?
4. How did Mary spend her life after she found the ichthyosaur?

①-2 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-47	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	コⅢ・338	Revised BIG DIPPER English Communication Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、生徒の人として**調和のとれた育成**に寄与するもので、知的好奇心を刺激する**バラエティに富んだ内容**を取り揃えた。
- B. 英語を通じて、**積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度**を育成するため、問題演習の**指示文や写真キャプションは英語を用いた**。また、生徒が実際に言語活動を行いやすいように、**具体的な指示・モデルパターン**を掲載した。
- C. **情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする能力**を更に伸ばし、社会生活において活用できるように、**自己表現活動 (It's Your Turn!)**、**要約文の作成 (Writing a Summary)**、**ディスカッションの実践 (Having a Discussion)** を用意した。

II. 教科書の構成

ねらいに応じたセクション別の構成：

- SECTION I 「短いトピックを数多く」読む
- SECTION II 「SECTION I の倍の長さ」を読む
- SECTION III 「見開きでひと続きの長文」を読む
- FURTHER READING 「ストーリー」を読み、語り手の心境を理解する

▼ SECTION I

LESSON 1	The History of <i>Ekiben</i> 歴史
LESSON 2	Three Tips for Maintaining a Conversation コミュニケーション
LESSON 3	Do You Judge People by Their Blood Types? 心理
LESSON 4	My Opinion of Zoos 討論
LESSON 5	The 55-Year Race 実話
LESSON 6	After the Flowers 自然
LESSON 7	Online Word-of-Mouth ウェブサイト
LESSON 8	<i>Kintsugi</i> 芸術

LESSON 9	Alfred Nobel: A Person of Peace 歴史秘話
LESSON 10	Art on Display リーフレット
LESSON 11	Keys to Winning 心理
LESSON 12	She Sells Seashells by the Seashore 科学
LESSON 13	A New Orchestra and a New Harmony 新聞記事
LESSON 14	Swimwear for Speed スポーツ
LESSON 15	The Immortal Jellyfish 自然
LESSON 16	Antarctica by Cruise Ship ウェブサイト

▼ SECTION II

LESSON 17	The Shoe That Grows 教育・健康
LESSON 18	Let's Try English Presentations! 発表・説明 / 図表
LESSON 19	Bottled Water? No Water? 環境・自然
LESSON 20	Endangered Languages 言語・文化
LESSON 21	Left in Space 科学・技術

▼ SECTION III

LESSON 22	タイトルなし 歴史・人権
LESSON 23	タイトルなし 自然・環境
LESSON 24	タイトルなし 心理・コミュニケーション
LESSON 25	タイトルなし 技術・社会

▼ FURTHER READING

Jesse Owens: My Greatest Olympic Prize by Jesse Owens 回想録

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
SECTION I: LESSON 1~16	(1)-イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。 (1)-エ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, まとまりのある文章を書く。	(1)-イ 各Lの本文, Reading Advice 2 (1)-ウ It's Your Turn! (9, 11, 13, 15, 19, 21, 23, 27, 29, 31, 37頁) (1)-エ It's Your Turn! (39, 41頁)	32

	<p>(2)-ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。</p> <p>(2)-イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>< [言語の使用場面の例] の取扱い ></p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行 <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本、新聞、雑誌などを読むこと ・情報通信ネットワークを活用し情報を得ること <p>< [言語の働きの例] の取扱い ></p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相づちを打つ ・聞き直す <p>d 考えや意図を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛成する ・反対する <p>< 文法事項 ></p> <p>(7) 不定詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了不定詞 <p>(i) 関係代名詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非制限的用法 ・関係代名詞 what <p>(v) 関係副詞の用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞 ・非制限的用法 <p>(w) 代名詞のうち、itが名詞用法の句及び節を指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式主語 <p>(h) 動詞の時制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去完了形 ・現在完了進行形 <p>(7) 分詞構文</p>	<p>(2)-ア Sound Tips, 33頁 It's Your Turn!</p> <p>(2)-イ Tips for Reading (9, 11, 13, 17, 19, 23, 27, 35頁), Reading Advice 1</p> <p>a L16 本文とIt's Your Turn!</p> <p>c L7, L10, L13, L16 本文</p> <p>a, d 14-15頁 討論でよく使う表現とTips for Reading</p> <p>(7) 完了不定詞：22頁6行</p> <p>(i) ・非制限的用法：8頁21行, 30頁11行, 32頁12, 21行, 38頁4, 15行 ・関係代名詞 what：10頁13行</p> <p>(v) ・関係副詞：18頁11行, 44頁9行 ・非制限的用法：40頁19行</p> <p>(w) ・形式主語：8頁4行, 14頁1行, 30頁15行, 32頁17行</p> <p>(h) ・過去完了形：26頁4,5,8,19行, 32頁14行 ・現在完了進行形：38頁19行</p> <p>(7) 分詞構文：22頁13行</p>	
<p>SECTION II: LESSON 17~21</p>	<p>< 内容 ></p> <p>(1)-ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>(1)-イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>(2)-イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p> <p>(2)-ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>	<p>(1)-ア 各LのComprehension AとIt's Your Turn! 2</p> <p>(1)-イ 各Lの本文とIt's Your Turn! 1</p> <p>(2)-イ L18 本文</p> <p>(2)-ウ 61頁 C</p>	<p>20~30</p>

	<p><〔言語の使用場面の例〕の取扱い> b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面 ・学校での学習や活動</p> <p><〔言語の働きの例〕の取扱い> b 気持ちを伝える ・感謝する ・望む c 情報を伝える ・説明する ・報告する</p> <p><文構造のうち、運用度の高いもの> a-(a) 主語+be動詞以外の動詞+分詞</p> <p><文法事項> (ア) 不定詞の用法 ・原形不定詞 (イ) 関係代名詞の用法 ・非制限的用法 (ウ) 関係副詞の用法 ・関係副詞 (エ) 助動詞の用法 ・助動詞を含む受け身表現 ・控えめな推量 (オ) 代名詞のうち、itが名詞用法の句及び節を指すもの ・形式主語 (カ) 分詞構文</p>	<p>b L18 本文</p> <p>b, c L18 本文</p> <p>a-(a) 44頁19行</p> <p>(ア) 原形不定詞：44頁2行</p> <p>(イ) 非制限的用法： 68頁10行, 78頁2, 15行</p> <p>(ウ) 関係副詞：44頁9行</p> <p>(エ) ・助動詞を含む受け身表現：46頁7, 12, 18行 ・控えめな推量：46頁5行</p> <p>(オ) 形式主語：60頁7行</p> <p>(カ) 接続詞+分詞構文： 60頁1行, 76頁20行</p>	
<p>SECTIONⅢ: LESSON 22～25</p>	<p><内容> (1)-イ 説明, 評論, 物語, 随筆などについて, 速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また, 聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (1)-ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合うなどして結論をまとめる。 (1)-エ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, まとまりのある文章を書く。 (2)-ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。 (2)-エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p><〔言語の働きの例〕の取扱い> a コミュニケーションを円滑にする c 情報を伝える d 考えや意図を伝える e 相手の行動を促す</p>	<p>(1)-イ 各Lの本文</p> <p>(1)-ウ Having a Discussion</p> <p>(1)-エ Writing a Summary 1～3</p> <p>(2)-ウ 94頁 A 5, 100頁 A 3, 4</p> <p>(2)-エ Writing a Summary 1～3</p> <p>a, c, d, e Having a Discussion</p>	<p>16～20</p>

	<p><文構造のうち、運用度の高いもの> b-(a) 主語+動詞+ifで始まる節 e-(b) It+seemなど+thatで始まる節</p> <p><文法事項> (ア) 不定詞の用法 ・原形不定詞 (イ) 関係副詞の用法 ・関係副詞 ・非制限的用法 (エ) 助動詞の用法 ・助動詞を含む受け身表現 (オ) 代名詞のうち、itが名詞用法の句及び節を指すもの ・形式主語 (カ) 動詞の時制など ・過去完了形 (キ) 仮定法 ・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・If S were to ~ (ク) 分詞構文</p>	<p>b-(a) 86頁24行 e-(b) 92頁21行</p> <p>(ア) 原形不定詞：87頁38行 (イ) ・関係副詞：93頁34行，105頁28行 ・非制限的用法：86頁14, 16行，87頁30行，93頁38行 (エ) 助動詞を含む受け身表現：86頁12行，93頁33行 (オ) 形式主語：86頁18行，105頁52行 (カ) 過去完了形：86頁17行，87頁37行，99頁34, 35, 39, 40行，105頁32行 (キ) ・仮定法過去：99頁47行 ・If S were to ~：93頁44, 47行 (ク) 分詞構文：86頁6行，93頁41行</p>	
FURTHER READING	<p><内容> (1)-イ 説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 (2)-ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p> <p><文構造のうち、運用度の高いもの> c-(b) 主語+動詞+間接目的語+whatなどで始まる節 d-(a) 主語+動詞+目的語+分詞 e-(a) 主語+seemなど+to不定詞</p> <p><文法事項> (イ) 関係代名詞の用法 ・関係代名詞 what (エ) 助動詞の用法 ・助動詞+have+過去分詞 ・控えめな推量 (カ) 動詞の時制など ・過去完了形 (キ) 仮定法 ・仮定法過去完了 (ク) 分詞構文</p>	<p>(1)-イ 本文 (2)-ウ 118頁 Comprehension 1</p> <p>c-(b) 115頁1行 d-(a) 113頁2行 e-(a) 115頁2行，116頁1行</p> <p>(イ) 関係代名詞 what：115頁17行，116頁2行，117頁4行 (エ) ・助動詞+have+過去分詞：117頁5行 ・控えめな推量：117頁2行 (カ) 過去完了形：114頁11行，115頁10行 (キ) 仮定法過去完了：116頁6行 (ク) 分詞構文：113頁5行，114頁8行，115頁9行</p>	4~5
		計	72~87